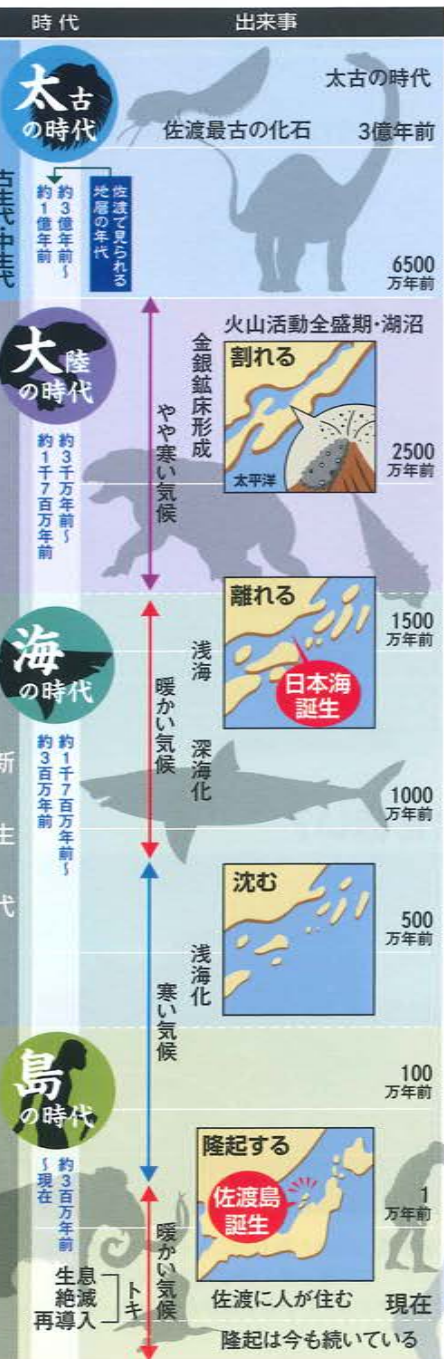


# 小佐渡北部エリアの歴史 (地史)

※歴史年表を見ながら読んで下さい。

現在の佐渡島になるまでの歴史年表



## Theme 大地の息吹と 豊かな自然が 溢れる場所

小佐渡丘陵の北側のエリアは、火山の岩石でできた地域です。色で表現するなら「白」「灰色」「赤」となります。白は粘性の高いマグマが固まった「流紋岩」、灰色は柱状節理が発達した「安山岩」、赤は熱水でできた「鉄石英」、銘石としての呼び名は「赤玉石」を表しています。これらの岩石や鉱物は、地球活動の激しさを感じさせるものです。穏やかで温暖な気候の影響を受け、優しくそして懐かしさを感じさせる風景がこのエリアには広がっています。地形的には、前浜海岸側に連続する急な崖、両津湾側の海成段丘など、海岸によって特徴の違いが明らかです。カーフェリーから見るとその特徴が目瞭然です。これは小佐渡の山地が傾きながら隆起(前浜海岸側が大きく持ち上がった)したことに関係しています。

# ジオパークおすすめ 小佐渡北部スポット

## ① 姫崎灯台・竜王岩

日本最古の鉄製灯台として有名な姫崎灯台。そこから見る三角定規のような岩が竜王岩です。承久の乱で佐渡に流された順徳天皇にちなんで竜王伝説が残っています。



竜王岩

## ② 竜王神社のスタジイ

スタジイは、どんぐりのなる暖地系の常緑樹です。丈夫で潮風にも強いので海岸沿いに大きな林ができています。対馬暖流の影響を受ける佐渡は、温暖であるため、スタジイの北限になりました。



スタジイの林

## ③ 杉池

国見山の斜面に杉池があります。春はユキツバキやミズバショウ、夏には森林浴、秋にはカエデの仲間の紅葉が満喫できます。赤玉集落の鎮守杉池明神もジブリ映画の雰囲気を感じ出しています。



ユキツバキの花

## ④ 生椿

思いっきり里山の雰囲気になりたい方におすすめのスポットです。枝打ちされた杉林、四角でない田んぼ、その中に生みつけられたサンショウウオの卵やメダカの群れ、鳥のさえずり。至福のひとつを味わえます。



クロサンショウウオの卵塊

# 島ヨッ! 日本三大銘石



赤玉石の石碑

◆赤玉石の形成年代は約2000万年前  
縁起石、魔よけ石として重用された赤玉石は、日本資本主義の父 渋沢栄一、三菱財閥の創始者 岩崎弥太郎も深く愛した石です。神戸の本御影石、鳥根の佐治川石と共に日本三大銘石の一つとされています。

## 2 地すべりの恵み



赤玉地区の棚田

◆地すべり地帯を利用した赤玉地区の棚田  
このエリアの海岸は、急な崖が海に迫っています。それゆえ地すべりの多発地帯になっています。この地すべりがもたらした恵みが、赤玉石と緩やかな斜面でした。



小佐渡北部エリア

# 3億年の旅とひとの暮らし

トキが舞う金銀の島

### ③ 名前は「ヨウケツ・ギョウカイガン」です。



りょうつおおがわつがみじま  
◎両津大川 津神島

漢字では、ヨウケツ=溶結・ギョウカイガン=凝灰岩。高温の火山灰がその熱で溶けてしまい、その後冷え固まってできた岩石です。横に伸びた穴には、自身の重みでつぶれた軽石が入っていました。

### ④ 廻船の港、今昔物語



◎両津大川 津神社

◎舟つなぎ石



◎版画



廻船業で賑わった両津大川の港、当時を思い出させる「舟つなぎ石」、家々に飾られた版画はまるで屋外美術館。ゆっくり歩いて鑑賞してみたいかがでしょうか。

### ⑤ 前浜海岸最大の巨岩 風島弁天



◎風島弁天

弁天様が祀られた「風島弁天」は、前浜海岸で最も大きな一枚岩です。岩石名はダイサイト、規則的な割れ目が発達しているのでブロックを重ねたようになっています。(海側からが良く見える)

### ⑥ まるでジェンガ 神様が通る道



◎風島弁天

「ジェンガ」というおもちゃは、ブロックを積み上げた塔から一つずつブロックを抜いていく遊びです。風島弁天の海側にはジェンガのように石のブロックが抜けてできた空洞が見られます。



### ⑦ 赤亀岩はなぜ赤い?



◎赤亀岩

しげ 時化にあった村人を助け、無事港に届けた亀が岩になったという言い伝えから赤亀岩と呼ばれています。この亀が赤い理由は、岩石中の鉄分が酸化したためです。海岸ではヤドカリや小さな貝がたわむれ、まるで水族館のタッチプールのようです。